

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 2022年 2 月 1 日

事業所名： あおぞらOlive

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
 評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1	○				72%	10%		18%		R3.6月より重心のデイに切り替え定員を8名とした事でゆとりのあるスペースの確保が出来るようになりました。
	2	○				73%			27%	その日のスタッフの人数をはっきりとは知らないのわからないに○をつけました。	法令遵守に基づき配置を行い、基準以上の人数で日々の業務を安全に行っております。
	3	○				64%	18%		18%		入口に傾斜はありますが必要に応じて職員が介助を行い対応しています。
	4	○				90%			10%		今後も清潔な環境を保ち安全な場を提供できるよう努力してまいります。
業務改善	1	○			非常勤スタッフに対してはラインや報告ノートを活用し情報を伝達、共有しております。	/	/	/	/	/	日々のミーティング、振り返りにてスタッフが発言し意見交換を行い改善点などはその日にしっかり話合う事でより良い支援に繋がっています。
	2		○			/	/	/	/	/	外部機関と連携を図り、業務改善に取り組みさらなる支援の向上に努めます。
	3	○			研修にも積極的に参加し、資格取得にも個々で目標を持ち取り組んでおります。	/	/	/	/	/	年に10回以上の外部講師の研修に加え、県や市が主催の研修にも積極的に参加し勉強会を行っております。
適切な支援の提供	1	○				100%					今後も保護者様や支援者の意見をしっかりと聞き取り、取り入れながら利用者様主体の支援計画作成に努めます。
	2	○				90%			10%		利用者様一人一人の実態を把握し、必要に応じて項目の追加や変更を行ってまいります。
	3	○				/	/	/	/	/	利用者様の実態に合わせて、集団での活動と個別の活動、両面で様々な体験が出来るよう計画の作成を行っていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
適切な支援の提供（続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	○				100%				これまでと同様、支援計画に全員が目を通して内容を把握し個々の目標達成に向けた支援を行ってまいります。	
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	○			ミーティング、振り返りで意見を出し合い支援を行っております。					今後もスタッフ全員で活動プログラムを検討し実施してまいります。	
	6	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	○				64%	18%		18%	様々な活動に参加し、個々が活動に参加しやすい方法を提案しながら実施してまいります。	
	7	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	○			その日の体調に応じた活動を提供しております。					今後もその日の利用者様の体調を第一に考え、利用時間に応じた支援を検討、実施してまいります。	
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	○			ミーティング、振り返りで意見を出し合い全員に周知しております。					これまでと同様、日々のミーティングで活動内容を把握し、役割の確認、周知を行い共通した支援を行ってまいります。	
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	○								日々、振り返りを実施しノートにしっかり内容をまとめておくことで休みのスタッフにも情報共有が出来ております。	
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	○								これまで同様、利用者様一人一人の記録をしっかりと記し支援が行えるよう努めます。	
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	○								年に2回のモニタリングに加え、日々の利用者様との関わりや送迎時の保護者様との情報交換で変化があれば、実態に合わせた計画となるよう努めてまいります。	
	関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	○			相談支援専門員と連携を取りながら管理者、児童発達支援管理責任者が参加しています。					今後も利用者様一人一人の実態の把握や他施設との連携した支援を目指して担当者会議への積極的参加に努めてまいります。
		2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	○								今後検討して実施してまいります。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
関係機関との連携（続き）	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備		○			/	/	/	/		利用者様一人一人の主治医の連絡先等情報は保管しているが、協力体制とまではまだ言えない状況なので今後連絡体制の整備にも努めます。
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	○			送迎時に学校の先生より申し送りを伺い、職員に周知日々の支援を行っております。	/	/	/	/		利用者様に関わる各機関と連携をとりながら、安心して通う事が出来るよう今後も継続して情報共有を行ってまいります。
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	○				/	/	/	/		他事業所への移行支援のため十分な情報提供と移行後にも連携にも努めてまいります。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	○				/	/	/	/		今後も各専門機関との連携や専門機関での研修参加を積極的に行い、さらなる支援の向上に努めてまいります。
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供			○		25%	50%	25%		コロナ禍でなかなか交流は難しいと思います。	必要性を感じていないという意見もあり、コロナが落ち着いたら検討していきます。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営			○		/	/	/	/		
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	○				90%	10%				これまでと同様、支援内容や利用者負担について丁寧な質問を行ってまいります。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	○				90%			10%		保護者様の声を反映しながら、本人主体の支援計画を作成し丁寧な説明を行ってまいります。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施		○			54%	10%		36%	日々のアドバイスがとても助かっています。	今後、研修等を活用してペアレントトレーニングを学び、実施してまいります。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	○				100%				送迎の際に丁寧にその日の様子や変わった事など説明してくれるのでありがたい安心しています。	今後も継続して日々の保護者様との関わりを大事にし共通理解を深めてまいります。	
	5	○				82%	18%				今後も、保護者様からのご相談について責任者を中心にお力添え出来るよう努めてまいります。	
	6		○				18%	10%	18%	54%	今はコロナで出来ていませんが、以前は年に一回秋に保護者様会として芋炊きを実施していました。	コロナの影響で保護者会が実施出来ていませんがまた他の方法も取り入れながら検討してまいります。
	7	○				責任者を中心に誠実で迅速な対応をしております。	73%			27%		今後も誠実な対応に努めてまいります。
	8	○				それぞれの特性に合わせた方法を採用しております。	90%			10%		今後も保護者様や利用者様の実態に合わせ、IC機器等も用いて意思疎通や情報伝達に努めてまいります。
	9	○				月に一回森松だよりを作成し日々の活動の様子やイベントなど情報を発信しております。	82%			18%	毎月楽しみにしています。	今後も継続して森松だよりで、活動の様子や行事をお伝えしてまいります。
10	○				事務所で厳重に保管を行い、取り扱いには十分注意しています。	90%			10%		今後も継続してまいります。	
非常時等の対応	1	○				82%	18%			マニュアルは見たことはないですが、研修や訓練をしてくれているのは知っています。	今後もマニュアル等をもとに安全な環境作りに努めてまいります。	
	2	○				風水害一回、地震・火災の避難訓練を避難確保計画に基づき計3回実施しております。	82%			18%	避難訓練をしてくれているのは、森松だよりで知っています。	今後も避難訓練を実施し緊急時に備えてまいります。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ		わからない	保護者の方のご意見
非常時等の対応（続き）	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	○			外部講師をお招きしての研修に加えて他主催の研修にも参加して会社全体で周知を行っております。	/	/	/	/		これまでと同様、研修参加と委員会での話し合いを周知してまいります。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	○			やむを得ず身体拘束を行う場合にはしっかりと保護者様に説明を行い、支援計画への記載、同意書を頂いております。	/	/	/	/		今後もしっかり説明を行い、支援計画への記載、同意書を頂き誠実な対応に努めてまいります。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	○			医師の指示書を最優先に保護者様と相談をしながら配慮を行っております。	/	/	/	/		今後も継続して職員全員への周知を行い安全に努めてまいります。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	○			ヒヤリハットの記入があった際には職員全員で改善策、反省点を考え、周知を行っております。	/	/	/	/		これまでと同様、ヒヤリハットに対するの対応、周知を行い、利用者様、保護者様に安心していただける環境作りに努めてまいります。

